

流通加工連携農業農村開発調査事業 [継続]

【41(45)百万円】

対策のポイント

開発途上国において、農村部の所得向上と本邦技術を活用したフードバリューチェーン構築のため、総合的な農業農村開発の計画を策定します。

<背景/課題>

- ・これまで、開発途上国に対する農業農村開発に関する協力は、農産物の生産量増大及び生産性向上といったフードバリューチェーン（FVC）の上流部である生産部門に重点を置いて実施してきました。
- ・今後は、大消費地のニーズといった市場を考慮し、生産部門に流通・加工部門も組み合わせた農業農村開発を行うことにより、農業者の更なる所得向上を図る必要があります。
- ・例えば、国及び地域をまたぐ物流円滑化に向けて、アフリカ及びアジアにおいて、複数の経済回廊（道路網）の整備が進められていることから、都市部の経済発展を農村部に取り込むため、大消費地のニーズに合わせた農産物生産・作物転換のための灌漑・農地整備や、農産物の流通・加工施設・直販所の整備等総合的な農業農村開発を行うことにより、開発途上国の農業農村の振興を通じた経済発展・所得向上、官民連携によるFVCの構築を通じた食料安全保障の確保及び我が国民間企業の海外進出が期待されます。

政策目標

本事業実施後の5年間に採択される農業農村開発分野のプロジェクトのうち、本事業の成果が活用されるプロジェクトが2件以上となる。

<主な内容>

流通加工連携農業農村開発調査

41(45)百万円

(1) フードバリューチェーンの構築状況に係る情報収集

アフリカ及びアジア地域において、灌漑及び農地の整備状況、農産物の集出荷施設・加工施設・地産地消を推進するための地元農家の直販所、国や地域をまたぐ回廊を中心とした流通網、FVCへの資金協力及び民間投資、水資源及び気候変動の影響等に関し情報収集を行います。

(2) 総合的な農業農村開発の計画の策定

収集した情報を基に対象地域を選定し、生産部門と流通・加工部門を組み合わせた農業農村開発の課題整理、FVC構築のためのハード・ソフトを組み合わせた総合的な農業農村開発計画の策定を行います。また、我が国民間企業の海外進出を図るため、我が国の優れたインフラ整備技術の活用についても検討を行います。

委託費
委託先：民間団体等
事業実施期間：平成28年度～平成31年度

[お問い合わせ先：農村振興局設計課 (03-3595-6339)]

流通加工連携農業農村開発調査事業

背景・現状

生産部門中心の協力

○これまでアフリカ・アジア地域において、灌漑など生産部門中心の開発協力を実施。

→大消費地のニーズを踏まえ、生産部門に流通・加工部門を組み合わせた開発協力が必要。

都市部の経済発展による恩恵が農村部に享受されていない

○経済回廊(道路網)が開発されたが、農村部からの市場(都市部)アクセスが不十分。

→都市部の経済発展を取り込むための農業・農村開発が必要。

資金の流れ

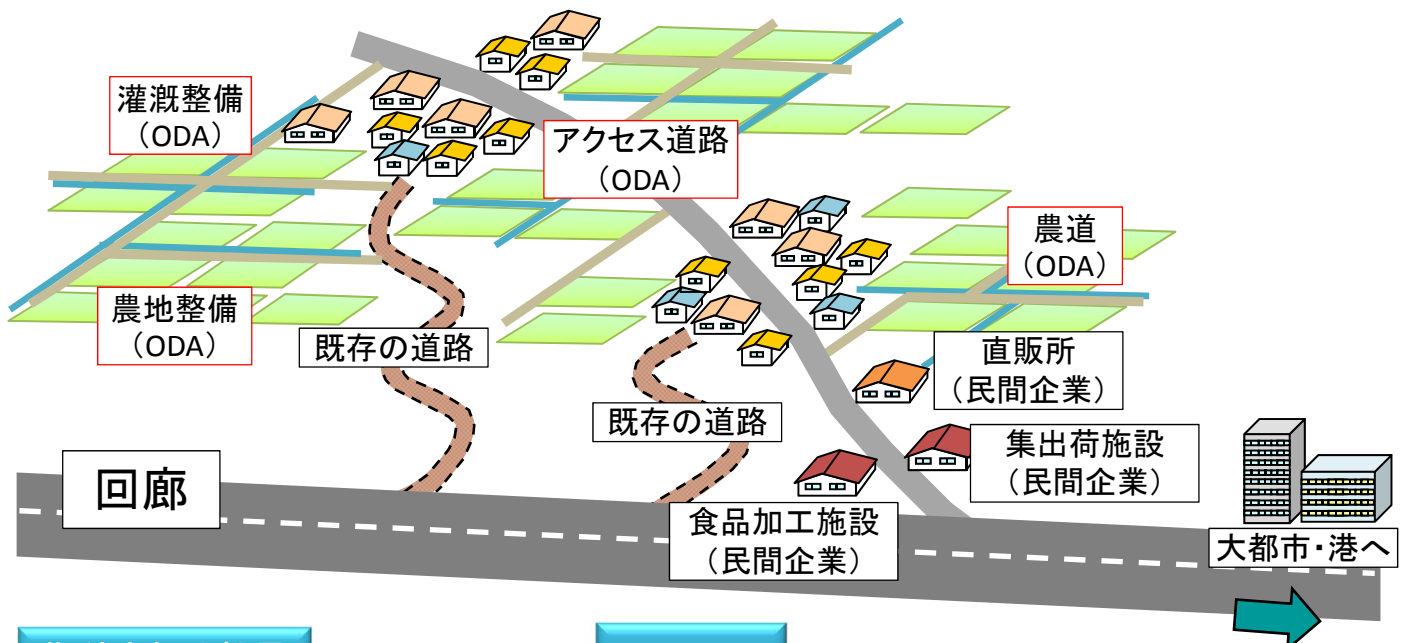
国

委託

民間団体等

事業内容

- アフリカ・アジア地域において、灌漑及び農地整備、農産物集出荷施設及び加工施設、地元農家による直販所、国や地域をまたぐ流通網、フードバリューチェーン(FVC)への資金協力及び民間投資、水資源及び気候変動の影響等に関する情報収集を行う。
- 収集した情報を基に対象地域を選定し、生産部門と流通・加工部門を組み合わせた農業農村開発の課題整理及びFVC構築のためのハード・ソフトを組み合わせた総合的な農業農村開発計画を策定する。
- 我が国民間企業の海外進出を図るため、我が国の優れたインフラ整備技術の活用方法についても検討を行う。



期待される効果

- 開発途上国の農業農村の振興を通じた経済発展・所得向上
- 官民連携によるFVCの構築を通じた食料安全保障の確保と我が国民間企業の海外進出